

福島経済マンスリー

9月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 平成27年9月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動や消費動向の一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では6ヵ月連続して前年比で増加した。一方、新車登録台数は、18ヵ月連続で前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、保証金額が3ヵ月ぶりで前年を上回ったものの、件数が5ヵ月連続、請負金額が3ヵ月連続でいずれも前年を下回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が3ヵ月連続、床面積と工事費予定額が2ヵ月連続でいずれも前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は2ヵ月連続で前年を上回った。内訳をみると、持家が5ヵ月連続、貸家が2ヵ月連続、分譲が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が3ヵ月連続で上昇したが、前年比が11ヵ月連続で下降した。業種別の前月比をみると、9業種で上昇し、10業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を0.02ポイント下回ったが、原数値が前年を0.02ポイント上回った。一方、雇用保険受給者実人員は2ヵ月ぶりで前年を下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は8月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		27年4月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	8.7	6.0	0.7	2.5	2.6	2.6
	乗用車新車登録台数	△ 8.1	△ 9.6	△ 7.5	△ 17.6	△ 4.3	△ 11.2
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	30.9	△ 51.4	15.5	△ 44.7	△ 22.9	△ 34.5
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	69.0	△ 17.2	△ 16.4	0.6	24.6	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	34.3	26.0	12.3	△ 14.4	20.1	33.4
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注1}	△ 2.6	△ 8.5	△ 5.7	△ 2.2	△ 3.9	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注1}	0.04	0.03	0.00	0.05	0.04	0.02
	雇用保険受給者実人員	△ 13.4	△ 12.7	△ 3.6	△ 4.2	0.1	△ 1.5

注1 原指数

(2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		27年4月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 5.9	6.3	△ 5.7	1.0	5.0	△ 10.5
	乗用車新車登録台数	△ 56.3	1.5	26.6	△ 11.2	△ 19.1	44.2
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 6.7	△ 37.5	118.9	△ 44.2	△ 10.0	△ 14.7
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 35.8	△ 20.7	44.2	△ 51.6	△ 2.3	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	31.5	16.1	14.7	△ 15.0	△ 6.3	6.1
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注2}	△ 3.4	△ 3.6	1.4	1.9	0.3	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注2}	0.01	0.01	△ 0.02	0.06	0.00	△ 0.02
	雇用保険受給者実人員	△ 1.7	8.4	11.3	0.3	△ 0.6	△ 2.6

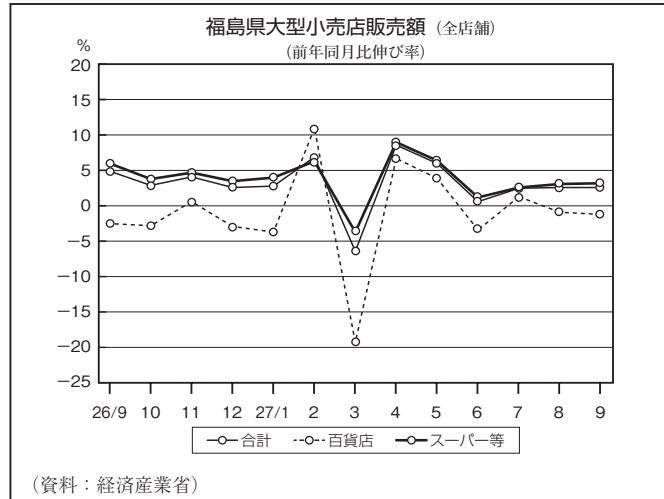
注2 季節調整値

3. 県内経済動向

消費動向

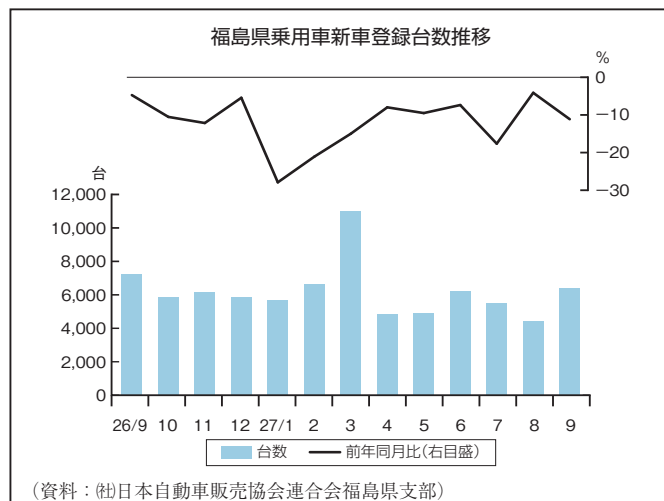
大型小売店：6ヵ月連続で前年比増

9月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で194億87百万円（前年同月比+2.6%）と6ヵ月連続で前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品などが前年を下回り、合計では同△1.2%となった。一方、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったことなどから、合計では同+3.2%となった。



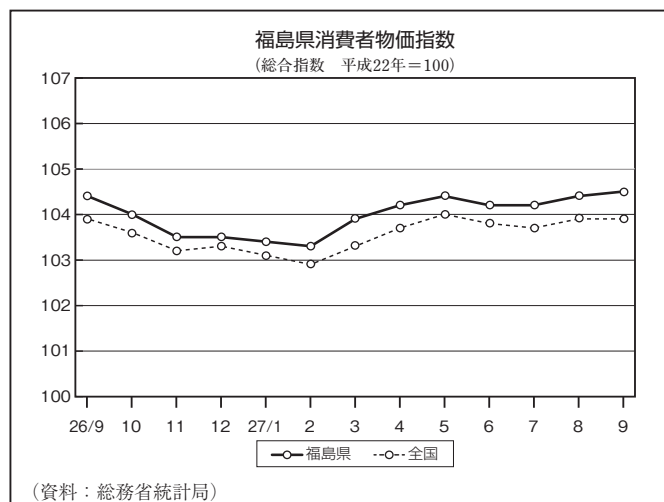
乗用車販売：18ヵ月連続で前年比減

9月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で6,400台（前年同月比△11.2%）となり、18ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、普通車が1,996台（同△10.4%）と3ヵ月連続、軽乗用車が2,394台（同△18.6%）と9ヵ月連続、小型車が2,010台（同△1.5%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。



消費者物価指数：前年比、前月比とも上昇

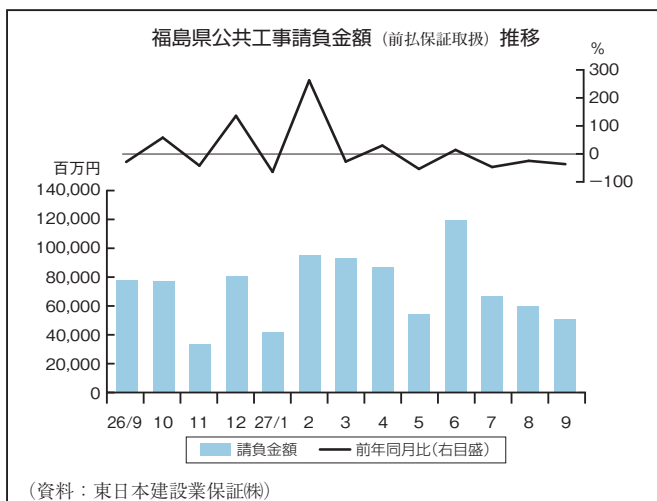
9月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）で見ると、104.5と前月比+0.1%、前年同月比+0.1%となった。費目別に前月比で見ると、「被服及び履物」が107.0（前月比+8.2%）など5費目で上昇したものの、「教養娯楽」の98.9（同△1.7%）など4費目で下降した。



公共投資

公共工事：請負額は3ヵ月連続で前年比減

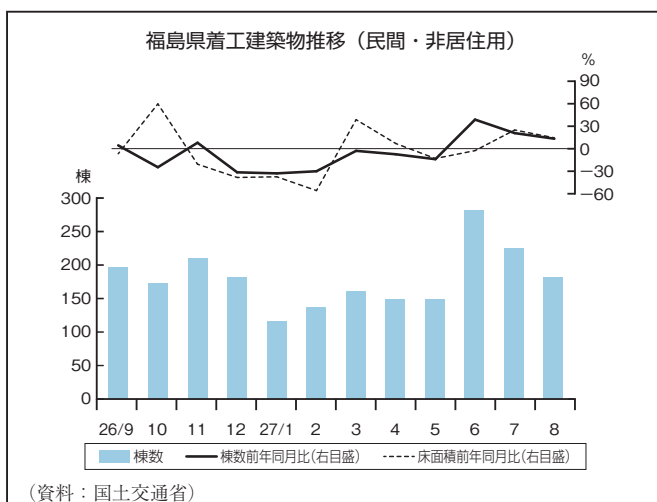
9月の公共工事前払保証取扱は、保証金額が525億8百万円（前年同月比+43.9%）と3ヵ月ぶりで前年を上回ったものの、件数が695件（同△16.3%）と5ヵ月連続、請負金額が514億51百万円（同△34.5%）と3ヵ月連続でいずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2ヵ月連続で前年比増

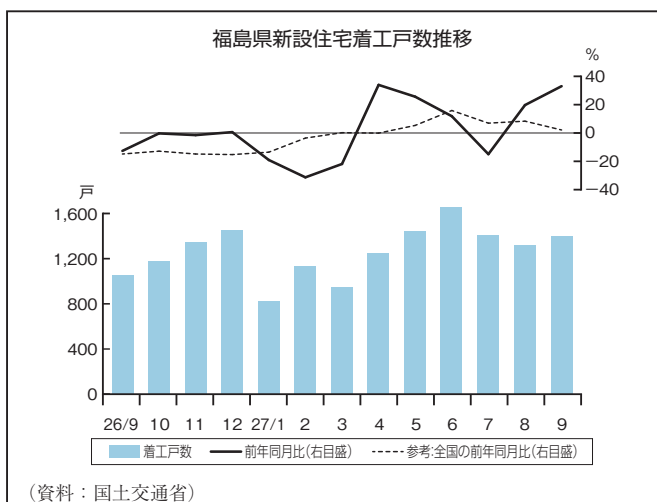
8月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が182棟（前年同月比+13.0%）と3ヵ月連続、床面積が65,859㎡（同+14.2%）、工事費予定額が125億15百万円（同+27.6%）と2ヵ月連続でいずれも前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：2ヵ月連続で前年比増

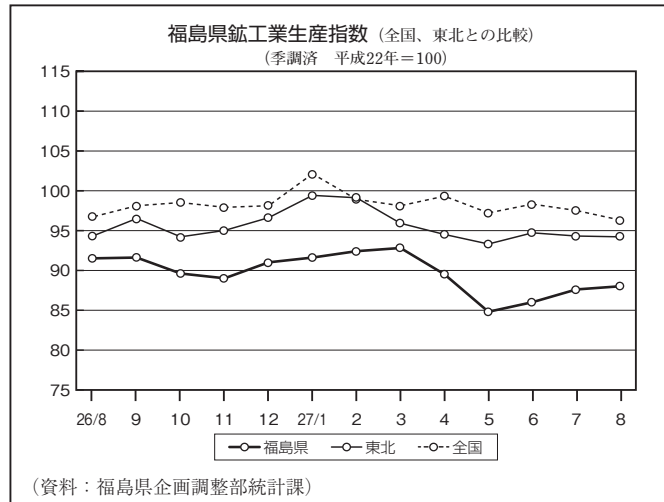
9月の県内新設住宅着工戸数は、1,401戸（前年同月比+33.4%）と2ヵ月連続で前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が637戸（同+4.8%）と5ヵ月連続、「貸家」が642戸（同+84.0%）と2ヵ月連続、「分譲」が118戸（同+40.5%）と4ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比は下降、前月比は上昇

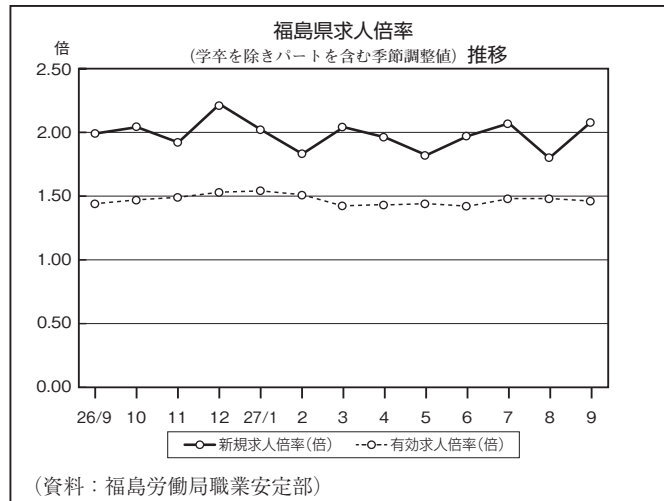
8月の鉱工業生産指数は、88.0（季節調整値）で前月比+0.3%と3ヵ月連続で前月を上回ったものの、原指数が79.8で前年比△3.9%と11ヵ月連続で前年を下回った。業種別の季節調整値をみると、「繊維工業」（前月比+13.2%）など9業種で上昇したが、「輸送機械工業」（同△11.6%）など9業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：雇用保険受給者は2ヵ月ぶり前年比減

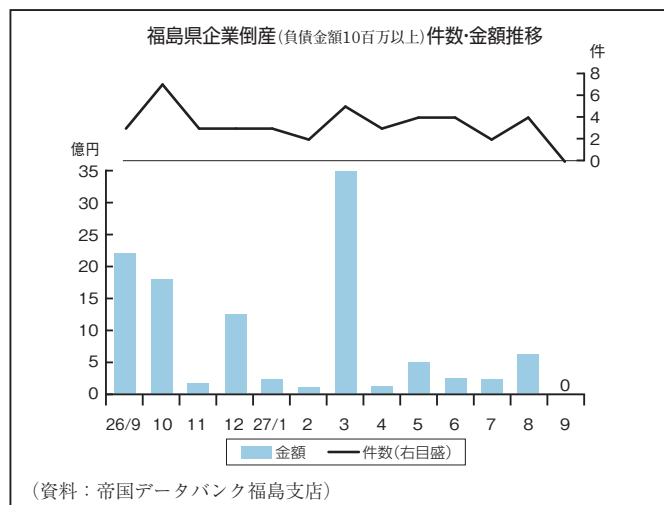
9月の新規求人倍率は、季節調整値が2.07倍（前月比+0.28ポイント）、原数値が2.24倍（前年同月比+0.11ポイント）となった。また、9月の有効求人倍率は、季節調整値が1.46倍（前月比△0.02ポイント）、原数値が1.51倍（前年同月比+0.02ポイント）となった。また、9月の雇用保険受給者実人員は6,779人（前年同月比△1.5%）と2ヵ月ぶり前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：9月の倒産件数なし

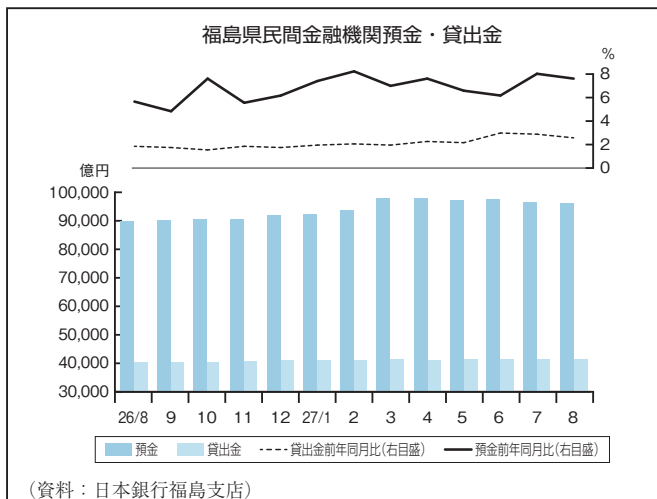
平成27年度上半期の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が17件（前年同期比+6.3%）、負債総額が17億73百万円（同△63.6%）となり、件数は前年を上回ったが、負債総額は前年を下回った。業種別では、建設業が5件、製造業が4件、卸売業が3件、小売業とサービス業が各2件、運輸・通信業が1件となった。



金融動向

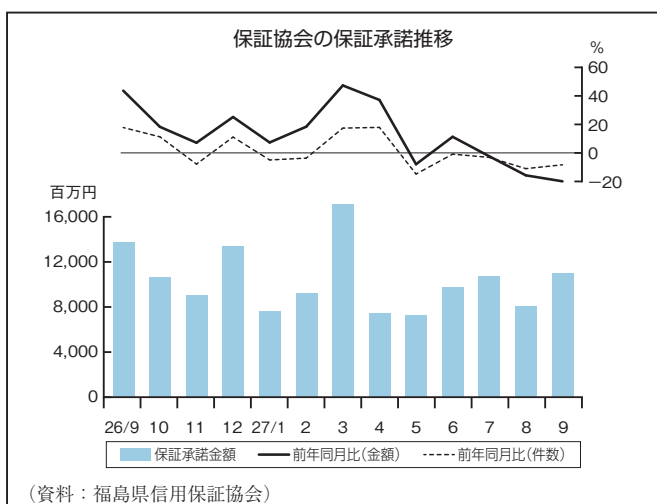
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の8月末の預金残高は、9兆6,562億円（前年同月比+7.4%）と8年6ヵ月連続、貸出金残高は、4兆1,315億円（同+2.5%）と27ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：代位弁済は件数、金額とも前年比増

9月の保証承諾は、件数が920件（前年同月比△8.5%）、保証金額が109億52百万円（同△20.1%）となった。また、9月末日現在の保証債務残高は、件数43,024件（同△8.1%）、金額3,750億66百万円（同△9.2%）となった。一方、9月中の代位弁済は、件数が43件（同+115.0%）、金額が3億57百万円（同+704.7%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

家電量販店 9月の家電量販店の売上高は、パソコンなどが前年を下回ったものの、テレビやエアコンなどが前年を上回ったことから、合計では前年を5%ほど上回った。

ホームセンター 9月のホームセンターの売上高は、カー用品や日用品などが前年を上回ったことから、合計では前年をわずかに上回った。

旅行 8月の旅行取扱額は、国内、国外とも前年を大きく下回ったことから、合計では前年を40%以上

下回った。

高速道路 9月の県内自動車道出入口数は、合計で5,482,705台（前年同月比+10.4%）と、10ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～山元IC）は1,702,943台（同+32.8%）と19ヵ月連続、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は728,797台（同+20.6%）と6ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。一方、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,650,078台（同△0.2%）と2ヵ月連続、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は400,887台（同△5.7%）と12ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

福島空港 9月の福島空港国内定期路線の利用状況

は、25,021人（前年同月比+9.0%）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は7,937人（同△14.5%）、大阪便は17,084人（同+24.9%）となった。（国際定期路線は全便運休）

生産活動

化学 9月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国からの受注量減少による影響が続いていることなどから、合計でも前年を下回る生産水準で推移している。

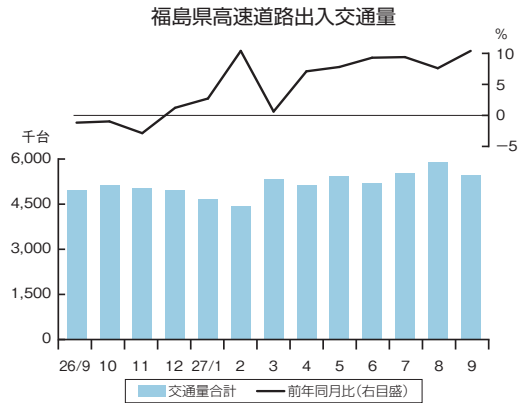
鉄鋼・金属 9月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が国内および米国などの国外からの受注が振るわず、前年を15%程度下回る生産水準となった。また、半導体向け電子材は、国内および中国など国外からの受注が減少していることから、前年を約30%下回る生産となった。9月の建機用鋳造品は、中国からの受注減少が続いていることなどから、前年を40%程度下回る生産となった。陸船用バルブは、中国などの低価格品との競合が続いていることなどから、前年を10%程度下回る生産となった。

輸送用機械 9月の鋳造品は、トラック用では、国内受注が堅調なもの、タイヤインドネシアからの受注が減少しているため、合計では前年を10%程度下回る生産となった。一方、オイルシールは、国内自動車販売の伸び悩みなどによる在庫調整が続いていることから、合計では計画を5%程度下回る生産となった。

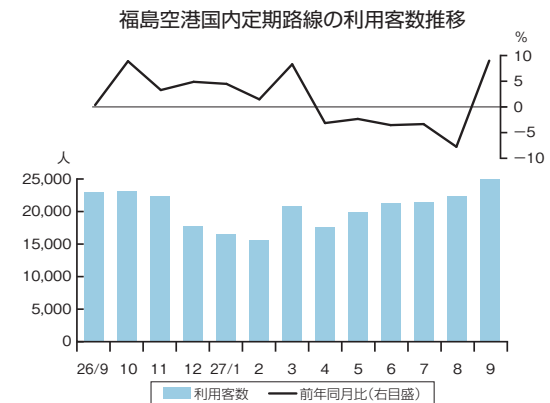
電気機械 9月の電気機械の生産は、変圧器が前年を下回ったものの、誘導炉や配電盤が増加したことから、合計では前年並みの水準を保った。

情報通信機械 9月の情報通信機械は、国外向けマイクロ波通信装置（携帯電話の中継局）の生産が横ばいで推移したものの、国内向けモバイル基地局の増産により、合計では前年を60%以上上回る生産水準となった。

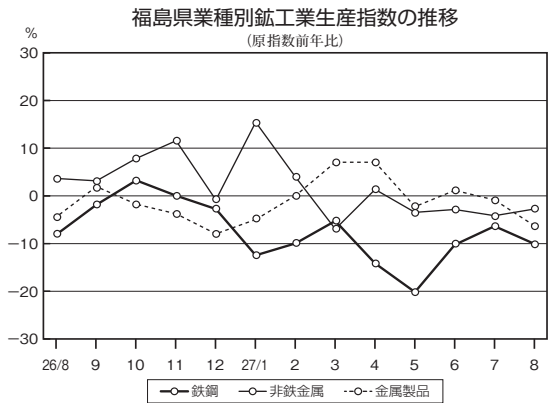
電子部品・デバイス 9月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前年を40%程度上回った。



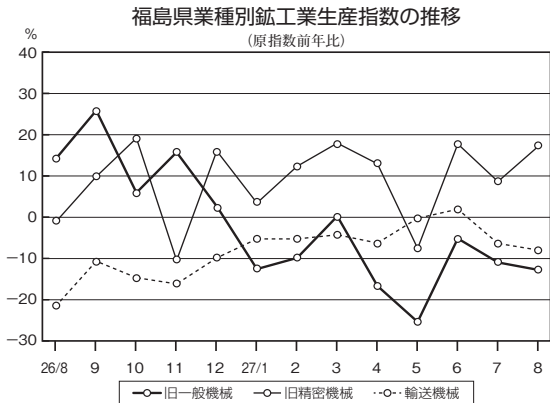
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)



(資料：福島県商工労働部空港交流課)



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県企画調整部統計課)

精密機械 9月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調に推移しており、合計では前年を10%ほど上回る生産水準となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内、国外とも受注が増加したことから、全体では前年を10%ほど上回る生産となった。

窯業・土石 9月の生コンクリート出荷量は、全体で168,695m³（前年同月比△4.3%）と8ヵ月ぶりで前年を下回った。民需・官公需別にみると、官公需は白河と会津以外の4地区が前年を上回り、合計で同+11.0%となった。一方、民需は白河といわきを除いた4地区が前年を下回ったことから、合計で同△14.2%となった。

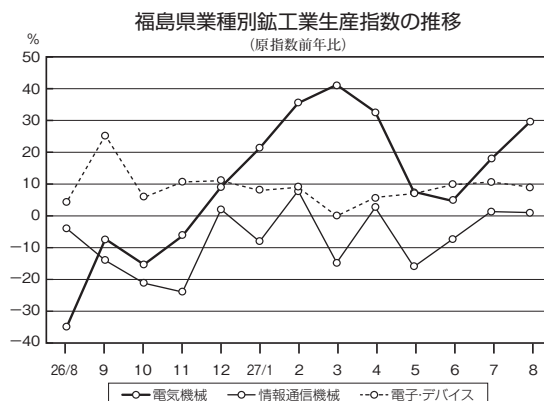
紙・紙加工品 9月の製紙は、インクジェット紙などが前年割れとなったものの、感熱紙が堅調な生産を続けており、合計ではほぼ前年並みの生産水準となった。

清酒 9月の清酒移出数量は、1,090kl（前年同月比+6.4%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が577kl（同+0.3%）と5ヵ月ぶり、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）は514kl（同+14.2%）と6ヵ月連続で前年を上回った。

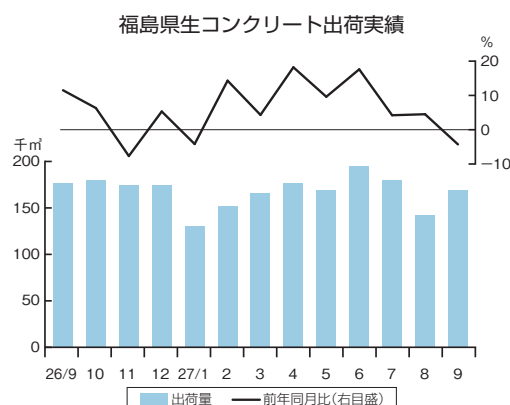
化合繊維物 9月の化合繊維物は、生産量が前年を15%ほど上回り、生産額も前年を5%ほど上回った。

ニット 9月のニットは、秋冬物製品を中心に安定した受注量を確保しており、ほぼ前年並みの高い生産水準となった。

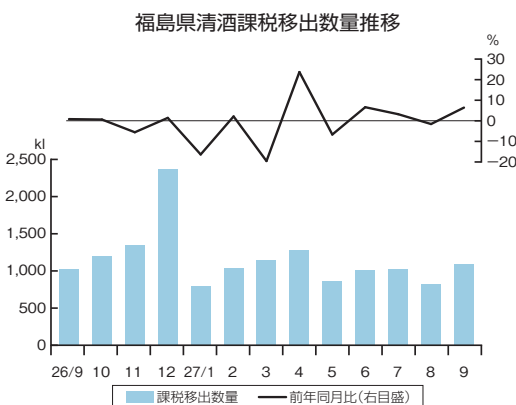
大口電力 9月の大口電力販売量は、472百万kw/h（前年同月比△2.6%）と2ヵ月連続で前年を下回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で87百万kw/h（前年同月比△16.2%）、「電気機械」で81百万kw/h（同+3.7%）、「輸送用機械」で53百万kw/h（同△7.4%）、「化学」で44百万kw/h（同+4.3%）、「一般機械」で26百万kw/h（同△0.2%）、「紙・パルプ」で26百万kw/h（同+21.2%）となっている。



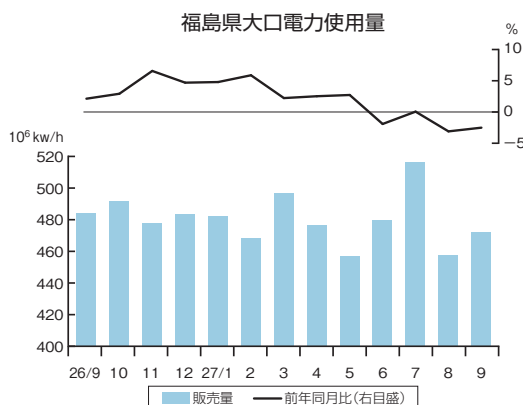
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)